

道路の整備については、ここ数年市の重点事業の一つとして行われ、幅員4m以上の市道舗装については、区画整理地区を除きほぼ完了している。現在は4m以下の通学路等を中心に整備を進めている。昭和47年度末現在の面積比舗装率は、70.8%に達しており、周辺市町村に比べ高い率を示している。年度別の道路状況はつぎのとおりである。

市 道 現 況

年度末現在

年 度	実 延 長	面 積			舗 装 率
		総面積	舗装済	未舗装	
45	149,652 ^m	525,990 ^m	233,902 ^m	292,088 ^m	44.5%
46	149,868	586,692	302,212	284,480	51.5
47	139,499	581,397	411,627	169,770	70.8

交通安全施設の整備については、幹線はもとより、裏通りの交通事故防止のため、生活道路、通学路の整備が進められている。年度別の設置状況はつぎのとおりである。

名 称	昭和45年度	昭和46年度	昭和47年度	昭和48年度見込
防 護 柵 (m)	793	1,524	1,482	952
道路反射鏡 (基)	5	11	7	5
道路照明灯 (灯)	29	45	27	19
標示区画線 (m)		527	300	5,971
通学路標識 (本)	20			
歩 道 (m)			484	373
警戒標識 (本)	34	2		

建設課の事務事業には以上のような建設事業とその維持管理業務がある。監査の結果はつぎのとおりである。

1 市道等の管理について

従来建設課で行われていた市道用地の購入事務は、昭和48年11月から用地課が新設され、その事務は移管されている。

市道の管理事務としては、市道路線の認定、廃止ならび道路占用の許可事務などが主なものである。道路占用の許可は、福生市道路占用規則によつて許可を与えているが、占用料は徴していない。監査対象期間中の許可状況は、ガス

(2)

管引込21件、上下水11件、電柱17件、雑排水28件、その他86件で合計133件となつている。なお、無許可のものについてはパトロールを行い、指導、取締りが必要と思われる。

つきに、市道用地の登記の状況についてみると、購入年度の古いものに未登記が多くみられる。取得当時の所有者が亡くなつていて、現在の権利者が多いものや国有地などで、事務処理が繁雑と思われるが、登記事務を一層促進されることを要望する。

その他、市道等の管理としては、直接的な道路等の維持補修がある。これについては、道路の破損箇所での事故で、管理者が管理上の瑕疵を問われる判例もあり、事故防止のため、常に道路の状態を掌握する必要がある。現在は市民からの通報などにより補修を行つていますが、パトロールカーを設置して、これらの早期発見および補修に努められることを要望する。

2 土木事業について

昭和48年度の道路維持、新設、改修等の工事請負費はつぎのとおりである。

款 項	目	予 算 現 額	執 行 済 額	執 行 率
土 木 費	道路河川橋梁総務費	500,000 ^円	0 ^円	0%
	道路新設改良費	86,200,000	33,500,000	38.9
	交通安全施設費	13,408,000	7,668,700	57.2
	緊急道路整備費	29,500,000	10,000,000	33.9
	合 計	129,608,000	51,168,700	39.5

以上のとおり12月末現在の執行率は39.5%と低率であるが、監査当日にはすでに竣工したもの、あるいは工事の進行中のものであり、年度末には計画どおり執行できるものと見受られた。

つきに、道路の補装工事等の設計、施行および監督業務については工事係が担当している。工事係は、係長ほか5人の職員で処理しており、現場監督については設計した職員がその現場を担当している。5人の職員は経験2、3年の若い職員であり、また、係長は各現場の総括的な監督をしており、十分な監督ができない場合があると考えられる。この点について、係長を補佐する職員の配置が必要と考える。なお、年間工事施行計画の作成にあたり、関連事業課ならび財政担当課と綿密な調整を行い、一時期に事業が集中しないよう計画的に能率的な事業執行を図るよう要望する。

(3)

つきに、道路の舗装、補修および改良工事などのうち、規模の小さな工事は応急補修係が直轄工事で行っている。現在係には係長ほか8人の作業員が配置されており、監査対象期間中の事業件数はつきのとおりである。

区分	事業	件数	区分	事業	件数	区分	事業	件数
道	砂利敷	30	側	清掃	22	そ	グランド外整地	8
	グレーダー整正	20		土砂、塵芥処理	32		安全施設の設置等	9
	合材(穴埋め)	39		改修、補修	15		の不法看板の撤外	21
路	清掃	6	溝	蓋布設外	12	他		
	舗装工事	12		集水管外設置	6			

これらの事業を行うための原材料の購入予算額は5,410,000円であり、そのうち約50%の2,857,832円が執行されている。

3 その他

(1) 防犯灯の管理について

現在市内には380本の防犯灯が設置されており、昭和47年度から市の管理となつている。防犯灯の中には木柱で老朽化したものがあるので、実態を調査して補修、取替等の処置が必要と思われる。

(2) 屋外広告物の許可事務について

屋外広告物は都屋外広告物条例により、設置する場合指定地区および物件により、都知事の許可が必要とされているもので、市にその申請許可等の事務が委任されたものである。監査対象期間中の許可件数は16件で手数料は34,910円となつている。現在市内には無許可のものがあつて、これらについては、撤去等必要な対策を望むものである。

(3) 境界査定および立合について

公私有地の境界査定および道路位置指定については、現在管理係で行っているが年々その件数は増加し、現在月に15件にも及んでいる。また、これら事務の増加により、他の事務に支障をきたしている。これは、近年地価の高騰による利害で査定に手間どること、職員に測量士等の専門的な技術者がいないことなどが考えられる。今後も査定、立合等の件数は増加すると思われるので、これらを考慮され能率的な執行を図るよう希望する。

4 留意を要する事項

(1) 帳簿の整備が必要なもの

(4)

直営工事にかかる原材料の出納状況について調査したところ、受払状況が記録されていなかったため現在高を確認できなかった。今後は物品管理規則に基づき必要な帳簿を備え、適正な管理を要望するものである。

(2) 予算計上で留意を要するもの

当年度の予算執行状況をみると、予備費の充用および款内流用が6件807,000円ある。これらの中には、直営工事の増加により、工事用器具等の増強が考えられるが、備品購入費の予算計上が少ないために、已むを得ず流用したものと見受けられるものがある。今後は適正な予算要求ならび予算編成により計画的な予算執行を行うよう要望するものである。

〔都市計画課〕

都市計画課の事務分掌は、都市計画に關すること、区画整理に關すること、地域開発に關すること、公園及び児童遊園に關することとなつている。これらの事務を処理するための機構および職員の配置状況はつきのとおりである。

係名	課長	係長及び主査	主事及び技師	主事補及び技師補	その他	摘 要
都市計画係		1	1	1		
区画整理係		1	1	2	1	その他は臨時職員
福生駅東口開発担当		2	1			
公園管理係		1		1	3	その他は作業員
計	1	5	3	4	4	

当年度の事務事業の主なるものは、用途地区の指定(11月指定済)、加美平多摩河原団地内の区画整理事業の推進、福生駅東口開発事業の施行準備等である。

1 区画整理事業について

区画整理事業は道路、公園等の公共施設を整備して、土地利用の増進を図るものであるが、現在市内では2地区において市が施行者になり、また各事業は新都市建設公社に委託して実施されている。

市施行の区画整理事業として、昭和38年度に加美平地区、昭和39年度には武蔵野台地区がそれぞれ事業に着手して、昭和44年度に武蔵野台地区の事業が竣工している。しかし、加美平地区は一部住民から行政訴訟が行われ、当初の計画より遅れて昭和50年度が最終年度となつている。また、昭和44年

(5)

度には多摩河原の約69ヘクタールの水田の区画整理事業に着手しており、昭和49年度には竣工の予定である。

現在施行中の加美平、多摩河原両地区の事業費はつぎのとおりで、昭和47年度末現在の執行率は、加美平地区が69.9%、多摩河原地区が47.4%である。

単位千円

名 称	総事業費	財 源 内 訳			昭和47年度末までの事業費
		都支出金	そ の 他	一般財源	
加 美 平	1118010	519810	446700	151500	759682
多 摩 河 原	1950481	359890	1461811	128780	924705

事業費の財源内訳は都費、市費およびその他の保留地処分金となつてゐるが、両地区の保留地の処分状況はつぎのとおりである。

単位㎡

名 称	総保留地積	処分済地積	未処分地積
加 美 平	36,367	29,137	7,230
多 摩 河 原	54,516	29,963	24,553

土地区画整理事業進捗状況

名 称	区 分	計 画		昭和47年度までの施行済		昭和48年度施行予定	
		面積㎡	延長㎡	面積㎡	延長㎡	面積㎡	延長㎡
加 美 平	都市計画道路	46968	2830	38168	2280	5800	210
	区 画 街 路	96406	14241	95102	14021	0	0
	公 園	20646		18968		0	
	整 地	65874		61279		1350	
多 摩 河 原	都市計画道路	50719	3069	36975	2224	7024	440
	区 画 街 路	88705	14532	75135	11687	8070	1345
	公 園	20393		2904		17489	
	整 地	130082		124400		5682	

つきに、事業がすでに竣工している武蔵野台地区の、換地に伴う清算金の交付納付金については、市条例の規定により、最高5年間の分割が認められている。当年度は4年目にあたり、その状況はつぎのとおりである。

(6)

徴 収 金

(円)

総 額	昭和47年度以前			昭和48年度			来年度
	債権額	収入済額	収入未済額	債権額	収入済額	収入未済額	債権額
25,601,769	23,555,309	23,555,309	0	10,342,78	9,943,92	39,886	10,121,82

交 付 金

(円)

総 額	昭和47年度以前			昭和48年度			来年度
	債務額	支出済額	支出未済額	債務額	支出済額	支出未済額	債務額
26,005,100	23,618,683	23,618,683	0	7,954,72	3,977,36	3,977,36	15,909,45

2 都市公園について

当市の都市公園の現状は、児童公園5ヶ所1.5ヘクタール、近隣公園4ヶ所6.4ヘクタール、総合公園1ヶ所5.3ヘクタール、合計13.2ヘクタールとなっている。都市公園法に定める住民1人当りの必要面積は、市街地においては3㎡となつてゐる。当市の1人当りの公園面積は3.1㎡になり、面積はまずまずであるが、分布状況が周辺部に片寄つてゐることや、河川敷にあることなど今後の公園整備における問題点である。

児童遊園については、昭和47年度に1ヶ所設置されているが、利用者の範囲は狭小と思われる。現在2ヶ所の新設が予定されているが、公園のない地区を中心に増設が必要と考える。

つきに、公園の管理については、従来建設課管理係で行つていたが、昭和48年5月から都市計画課の中に公園係が新設され、維持管理を行つてゐる。当年度の公園管理における事業としては、柳山公園内の公衆便所の改修、武蔵野台公園内に公衆便所の新設などが執行されている。なお、公園内の各施設はとかく壊されやすいので、清掃、パトロール等十分な管理を要望するものである。

3 その他

(1) 福生駅東口開発事業について

駅前広場をはじめ約4.7ヘクタールの区域を整備するもので、現在までに地元関係者に説明会、ならび意見聴取会等を行い、実現を目指して事務を進めており、今年6月事業認可の予定である。この事業は区画整理事業として施行されるもので、実施にあつては地域の実情等十分考慮し、適切な対策

(7)

をたてられ、事業が円滑に推進できるよう努力されることを希望する。

(2) 用途地域の指定替えについて

昭和45年6月建築基準法などの改正が行われ、生活環境の保護および改善、都市公害の防止などを基本に従来の地域地区制を廃止して、新しく地域を用途別に規制して都市計画の目的を実現しようとするものである。今度の改正案の作成にあたり、市民の意見等を尊重し、秩序ある都市づくりを図るため全面的に検討され、昭和48年11月に新しい用途地域地区が決定された。

4 留意を要する事項

資金前渡金の精算については、市の会計事務規則によつて、用件終了後ただちに精算しなければならないとなつている。しかし、報酬、および旅費の一部に前渡後4ヶ月目に精算されたものがある。今後はこのようなことのないよう速かに処理されたい。

建設課関係予算執行状況

歳入

款	項	科目		予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率
		目	節					
7.	2.	2.	土木費負担金	25744000	0	0	0	0
			1.道路整備費負担金	25744000	0	0	0	0
9.	2.	2.	土木費国庫補助金	37800000	6823000	6823000	0	181
			1.道路河川橋梁補助金	37800000	6823000	6823000	0	181
10.	2.	6.	土木費都補助金	16230000	0	0	0	0
			1.道路河川橋梁補助金	16230000	0	0	0	0
10.	3.	4.	土木費都委託金	16000	16000	16000	0	1000
			1.道路河川橋梁委託金	16000	16000	16000	0	1000
11.	2.	1.	土地売却収入	378000	378627	378627	0	1002
			1.土地売却収入	378000	378627	378627	0	1002

歳出

科目

予算

正使費支出額

支出済額

支出未済額

率

望する。

の保護および収
、新しく地域
である。今度し
づくりを図る
地区が決定され

物件終了後ただ
はび旅費の一部
ことのないよう

建設課関係予算執行状況

歳入

款	項	科目		予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率
		目	節					
7.	2.	土木費負担金		25744000	0	0	0	0
		1.道路整備費負担金		25744000	0	0	0	0
9.	2.	土木費国庫補助金		37800000	6823000	6823000	0	181
		1.道路河川橋梁補助金		37800000	6823000	6823000	0	181
10.	2.	土木費都補助金		16230000	0	0	0	0
		1.道路河川橋梁補助金		16230000	0	0	0	0
10.	3.	土木費都委託金		16000	16000	16000	0	1000
		1.道路河川橋梁委託金		16000	16000	16000	0	1000
11.	2.	土地売却収入		378000	378627	378627	0	1002
		1.土地売却収入		378000	378627	378627	0	1002

歳出

款	項	科目		予算額	予備費充用額	支出済額	支出未済額	執行率
		目	節					
8.		土木費		249818000	35000	121875541	127977459	488
	1.	道路河川橋梁費		249818000	35000	121875541	127977459	488
		1.道路河川橋梁総務費		65545000	35000	43348014	22231986	661
		2.道路路維持費		3180000	0	1320352	1859648	415
		3.道路新設改良費		113535000	0	37151944	76383056	327
		4.河川橋梁維持費		30000	0	0	30000	0
		5.交通安全施設費		16110000	0	9280984	6829016	576
		6.緊急道路整備費		51418000	0	30774247	20643753	599
5.		労働費		6536000	0	4912853	1623147	752
	1.	失業対策費		6536000	0	4912853	1623147	752
		1.失業対策総務費		6536000	0	4912853	1623147	752

一般會計 歲 入

款 項	科 目		預算現額	調定額	收入済額	收入未済額	收入率
	目	節					
10. 3	4. 土木費	都委託金	271000	271000	271000	0	100
		2. 都市計画費委託金	271000	271000	271000	0	100

都市計画課 係 予算執行状況

歲 出

款 項	科 目		予算額	予備費充用額	支出済額	支出未済額	執行率
	目	節					
8. 土	木	費	86423000	467000	23969717	62920283	27.6
2. 都市計画費			86423000	467000	23969717	62920283	27.6
	1. 都市計画総務費		14329000	2000	9543525	4787475	66.6
	2. 土地區画整理費		50000000	0	0	50000000	0
	3. 福生駅東口開発事業費		7483000	0	5238170	2244330	70.0
	6. 公園管理費		14611000	465000	9188022	5887978	60.9

区画整理會計 歲 入

款 項	科 目		予算現額	調定額	收入済額	收入未済額	收入率
	目	節					
1. 1. 1. 1. 保留地処分金			150000000	52644064	52644064	0	35.1
2. 1. 1. 1. 一般會計繰入金			50000000	0	0	0	0

都市計畫課關係預算執行狀況

一般會計歲入

科目		目	預算現額	調定額	收入済額	收入未済額	收入率
款	項	節					
10.	3	4. 土木費都委託金	271000	271000	271000	0	100
		2. 都市計畫費委託金	271000	271000	271000	0	100

歲出

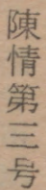
科目		目	予算額	予備費充用額	支出済額	支出未済額	執行率
款	項	節					
8.	土	木費	86423000	467000	23969717	62920283	27.6
	2.	都市計畫費	86423000	467000	23969717	62920283	27.6
		1. 都市計畫總務費	14329000	2000	9543525	4787475	66.6
		2. 土地區面整理費	50000000	0	0	50000000	0
		3. 福生獻東口開發事業費	7483000	0	5238170	2244830	70.0
		6. 公園管理費	14611000	465000	9188022	5887978	60.9

區面整理會計歲入

科目		目	予算現額	調定額	收入済額	收入未済額	收入率
款	項	節					
1.	1.	1. 1. 保留地処分金	150000000	52644064	52644064	0	35.1
2.	1.	1. 1. 一般會計繰入金	50000000	0	0	0	0
3.	1.	1. 1. 前年度繰越金	1000000	10470210	10470210	0	1047.0
4.	1.	1. 1. 預金利息	100000	155562	155562	0	155.6
4.	2.	1. 1. 換地清算金收入	800000	994392	994392	0	124.3
4.	2.	1. 2. 過年度收入	23335000	23335878	23335878	0	100.0
4.	2.	1. 3. 歩道橋設置協力金	15000000	0	0	0	0

歲出

科目		目	予算額	予備費充用額	支出済額	支出未済額	執行率
款	項	節					
1.	總	務費	7251000	50000	5084225	2216775	69.6
	1.	總務管理費	7251000	50000	5084225	2216775	69.6
		1. 1. 一般管理費	7251000	50000	5084225	2216775	69.6
2.	事	業費	230369000	0	24018070	206850930	10.4
	1.	加美平地區事業費	65796000	0	7105724	58690276	10.8
		1. 1. 加美平地區事業費	65796000	0	7105724	58690276	10.8
		2. 多摩河原地區事業費	165073000	0	16912346	148160654	10.2
		1. 1. 多摩河原地區事業費	165073000	0	16912346	148160654	10.2
3.	諸	支出金	800000	0	397736	402264	49.7
	1.	換地清算交付金	800000	0	397736	402264	49.7
		1. 1. 換地清算交付金	800000	0	397736	402264	49.7
4.	予	備費	1269000	0	0	0	—



陳情第三号

道路工事の前払金制度の実施および昭和四十九年度道路工事の早期
発注に関する陳情書

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

貴市役所のご発注道路工事につきましては、平素格別のご高配とご指導を賜わり誠に有難く厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年来当協会から道路工事の前払金制度の実施について各方面に陳情申しあげておりましたが、とくに石油ショック等による賃金、物価の異常な高騰により、われわれ中小業者を主体とする道路業界は大きな打撃を受けておりますので、業界の窮状をご賢察のうえ、昭和四十九年度発注工事からは是非共前金払を全面的に実施していただけますようお願い申し上げます。

また、昭和四十九年度ご発注道路工事につきましても、業界救済のため年度当初に空白を生じないよう、早期に発注されるとともに設計、積算についても発注時点の実勢単価によるよう特段のご配慮をたまわりたく、前払金制度の実施とともに重ねて懇願申し上げます。

昭和四十九年四月二十三日

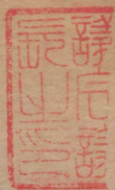
東京都千代田区丸の内三ー三ー一

社団法人 日本道路建設業協会

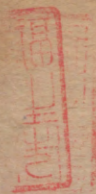
関東支部長 川 口 磐 三 印

福生市議会議長

石 川 信 義 殿



陳情第四号



公共工事標準請負契約々款に関する陳情書